

弘前市岩木観光施設事業経営健全化計画の平成27年度実施状況

(青森県弘前市)

(岩木観光施設事業特別会計)

第1 計画と具体的な措置の状況

(1) 収入改善に関する事項

①料金体系の見直し

使用料の見直しについては、近隣スキー場の動向を参考としながら検討することとしているが、平成27年度は、経営健全化計画による資金不足解消の最終年で、予定通り解消される見込みであることから、使用料の改定は行わず現状維持とした。

②入込客数の増加(入込客数 平成26年度 24,058人 → 平成27年度 32,912人)

入込客数については、平成26年度と比較し、シーズンを通して暖冬小雪傾向で営業期間は6日間短くなったものの、シーズン終盤までゲレンデコンディションが良かったため8,854人増加した。増加の要因としては、満19歳の方のリフト料金を無料とする「雪マジ!19」への参加をはじめとする魅力的な商品及びサービスの充実を図ったことや、近隣スキー場の雪不足による早期終了により、スキー客が流れてきたことなどが考えられる。

(数値は平成26年度→平成27年度)

・ファミリー専用駐車場	532件→	663件	・無料シャトルバス	547人→	599人
・シニアレンタルサービス	406人→	320人	・雪遊び等体験	731人→	692人
・スキーパック及び温泉割引券	413人→	394人	・市民スキー教室等	452人→	405人
・無料スキー預かりサービス	669人→	663人			

③一般会計繰入金

平成27年度は最終的に残額を0とするため、収支差額145,481千円を一般会計から繰入れした。

・平成26年度 178,900千円 → 平成27年度 145,481千円

(2) 支出改善に関する事項

①大規模改修経費

計画的なメンテナンススケジュールを組んで、経費支出の平準化と軽減を図った。

・平成27年度は、第1リフト通信線及び支柱防水端子箱更新工事を行い、概ねスケジュールどおりにメンテナンスを行った。

②指定管理内容の検討

平成22年度から岩木山百沢スキー場の指定管理者である財団法人岩木振興公社がそうまロマントピアスキー場の指定管理も行っており、両スキー場で兼職している有資格者の経費案分や、他の指定管理施設との夏季と冬季の人員配置の精査・検討等により効率化が図られている。

第2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度	計画初年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		の前年度	(平成21年度)	(第2年度)	(第3年度)	(第4年度)	(第5年度)	(第6年度)	(第7年度)
当初計画	A		10,994	9,261	118,379	131,947	131,947	131,947	130,272
解消実績額	B		6,793	11,443	162,996	131,096	126,801	126,305	99,313
現在計画	C		6,793	11,443	162,996	131,096	126,801	126,305	99,313
B－A又はC－A			△ 4,201	2,182	44,617	△ 851	△ 5,146	△ 5,642	△ 30,959
資金不足額		664,747	657,954	646,511	483,515	352,419	225,618	99,313	0

第3 資金不足比率の推移

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		平成25年度 (第5年度)		平成26年度 (第6年度)		平成27年度 (第7年度)		備考
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
資金不足比率	1,879.4	1,789.4	2,106.3	1,815.4	1,955.2	1,482.0	1,430.8	1,110.3	1,083.2	738.6	687.3	366.9	296.2	0.0	0.0	

弘前市岩木観光施設の今後の財政の運営の方針

(青森県弘前市)

(岩木観光施設事業特別会計)

弘前市内4スキー場についての弘前市社会体育施設等のあり方検討市民懇談会の提言を参考として、平成27年度末での経営健全化計画による資金不足の解消をもって、観光施設から社会体育施設へ変更した。それに伴い、所管課を文化スポーツ振興課へ移管し、市民を主体とした集客やスキー振興を図りながら、営業を継続していくこととしている。